



市内の気になる話題をご紹介します。

## 4/13 花を育てて、「思いやりの心」育てます

岐阜地方法務局、県人権擁護委員連合会、県子ども人権委員会では、人権の尊重の精神を身につけてもらうため、毎年、人権推進校を指定し、花育てなどを学校と協力して行っています。

今年は菅田小学校が指定校に選定され、この日は全校児童でプランターに花植えをしました。児童は、「水を掛ける時、一緒に声も掛けてあげたい」など話していました。(表紙記事)



先生の指導で、プランターに花を植える児童  
＝金山町菅田桐洞、菅田小学校

## 4/30 「いやしの里竹原 ふるさと散歩」で春を満喫

竹原地区の景観整備などに取り組む住民グループの竹原農地・水・環境保全会と竹原地区区長会が「いやしの里竹原ふるさと散歩」を開催しました。竹原の美しい農村風景や歴史、文化を知ってもらおうと企画され、今回で15回目。地元住民や県内外から訪れた参加者64人は、整然と広がる棚田や、満開のヤエザクラ、農家や住民が共同で育てているシバザクラが彩る田園などを巡り、春の温かい陽気の中で散策しました。



竹原の名所を巡り、散歩を楽しむ参加者＝宮地、清浄堂（観音堂）

## 4/25 下呂市の創業支援でカフェレストランを開店

下呂市は、創業者支援事業の一環で、平成28年度に下呂市独自となる補助金制度を創設しました。その交付第1号となった方が、幸田で飲食店を5月にオープンしました。

下呂市は、今後も創業者の増加、経済活性化と移住・定住につなげるよう、希望者や既に起業している人に向けて、創業と経営の支援に力を入れていきます。



ランチやケーキを試作り、5月の開店に向け準備を進める店主の廣田さん＝幸田、カフェレストラン店内

## 5/12 JR飛騨宮田駅舎が60年ぶりに建て替え

昭和30年に建てられた飛騨宮田駅舎が老朽化により建て替えられ、前年12月から使用開始されました。飛騨宮田駅は地域の方が国鉄(当時)に要望し開業となった駅で、用地や資金の調達などにも地域住民の働きが大きく関わり、旧駅舎は地元と萩原町で建設されていました。今でも地域の方は、掃除や花飾りなどをして、駅を大切に使用しています。



周りを花で飾られた新駅舎＝萩原町宮田、JR飛騨宮田駅